



AYAKA OKADA

岡田 彩加

岐阜大学
応用生物科学部 准教授

SBIRでの 取り組み

細胞性食品生産コストを大幅に低減する フラグメント化成長因子の設計

SBIRでは、「フラグメント化成長因子による細胞性食品用低コスト培地の開発」をテーマに、細胞性食品の高コスト化という社会課題の解決を目指し、成長因子の小型化・低価格化技術の研究開発を行っています。自身は、細胞培養評価、成長因子設計の実証、将来的な社会実装を見据えた事業化構想の検討を担当しています。

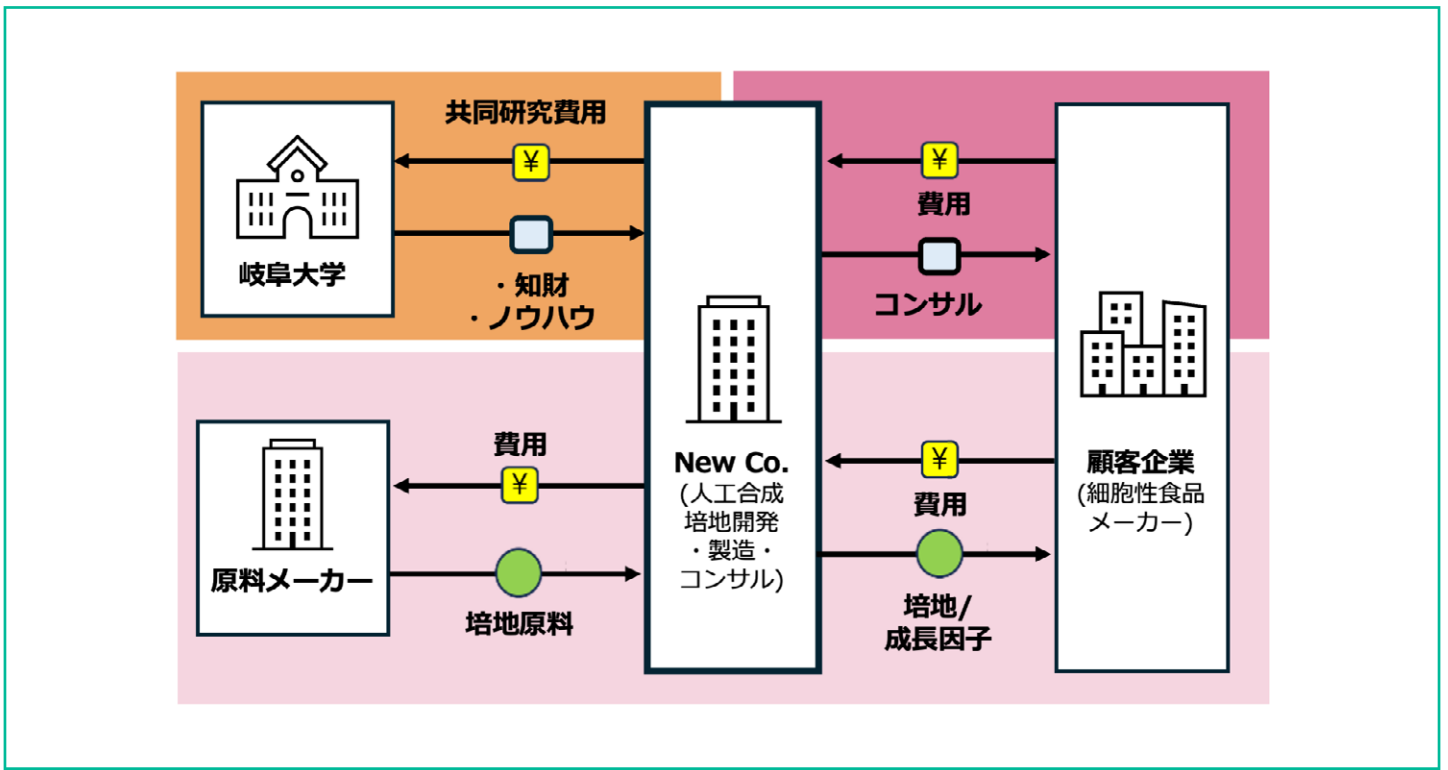
略歴

1988年：千葉県生まれ
2012年：岐阜大学応用生物科学部獣医学課程 卒業
2016年：岐阜大学大学院連合獣医学研究科 修了

目指すCxO像

将来的には、SBIR事業で関わる細胞性食品だけでなく持続可能な畜産を支える技術開発を主導できる人材を目指しています。研究者としての専門性を活かしながら、細胞性食品や腸内細菌叢を活用した家畜生産技術の研究開発・社会実装を推進し、技術戦略を統括するCTOのような立場で、食の安定供給に貢献したいと考えています。

ビジネスモデル



技術シーズ

